

宮城県内1級建築士、合格者占有率71・4%

総合資格学院（東京都新宿区 岸隆司学院長）は、仙台市のアパヴィラホテルで仙台校の11年度合格祝賀会を開いた。1級、2級建築士、宅建取引主任者試験の合格者46人をはじめ、来賓らを合わせ約70人が出席し、合格の喜びを分かち合った。

宮城県内における11年度1級建築士・設計製図試験の合格者63人中、総合資格学院の受講生は45人。合格者占有率71・4%と6年連続の高合格率を達成した。



仙台校祝賀会

祝賀会では、岸隆司学院長が「甚大な被害を受けられた宮城県の受講生は逆境をはね返し、宮城県の1級建築士合格者の7割以上が学院生であったことは大きな誇り」と受講生の頑張りを讃え、仙台校の佐藤文彦校長は「新たに建築士の資格者となられた皆さんには東北や宮城の復興をリードして行ってほしい」と今後の活躍に期待感を示した。来賓の砂金隆夫宮城県建築士会会長は「建築を通して地域の復興のため大いに

東北の復興をリード

総合資格学院仙台校などで合格祝賀会

活躍してほしい」、栗原憲昭宮城県建築士事務所協会会長は「有資格者として第一歩を踏み出した。今後は高い技術と質を身に着け建築に関わってもらいたい」と祝辞を述べた。

このほか映像メッセージで建築家の伊藤豊雄氏が「被災者と向き合い、大きな志で今後の建築を変えてほしい」とエールを送った。



山形校祝賀会

会場では、難関突破の喜びから笑顔が絶えず、担当講師を中心に受講生が合格を讃えあつた。

同校では、創業以来、一貫して講師が直接受講生に指導を行う「対面指導」を実施、分析力、対応力を活かした新カリキュラムで有資格者の育成に努めている。

なお、福島、山形両県とも学科と製図試験にストリートで合格した8人のうち郡山校と山形校の受講者が5人を占めた。



郡山校祝賀会